

事業番号	08 01 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	観光戦略推進事業		部局	観光スポーツ部	課・室	山岳高原観光課
			実施期間	S24～	E-mail	mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

## 1 現状と課題

- ・コロナ禍により打撃を受けた観光業界においては、観光消費額・延べ宿泊者数ともに大きく減少している。  
R3観光消費額：5,154億円(R元比-41.2%)、R3延べ宿泊者数：約1,084万2,000人(R元比-39.9%)
- ・Afterコロナに向けては、「安全・安心」「長期滞在」「リピーター獲得」を推進する必要がある。
- ・インバウンド受入再開に当たり、世界的な潮流を踏まえ、観光環境への配慮や地域経済循環等について持続可能な観光地域づくりを進める必要がある。(今後1年間において、よりサステナブルに旅行したいと回答した世界の旅行者:76%  
「Booking.com "Sustainable Travel Report 2023"」から)
- ・各地域に存在するDMO等の運営課題（マネジメントなどの経営・財源・人材・専門性等）へのサポートが必要。

## 2 事業目的

世界水準の山岳高原観光地域づくりに向けて、県内DMO等の運営課題への支援を通じてスキルアップを図るとともに、意欲・ポテンシャルの高い地域と連携し、持続可能な観光地域づくりを推進する。

## 3 事業目的を達成するための取組

- ①DMO等における課題解決のための人材育成支援
  - ・DMO等の運営に係る課題(経営・人材・地域内合意形成等)の解決を図るため、観光機構によるコンサルティングや人材育成支援を実施。
- ②観光地のポジショニング分析の実施
  - ・地域が抱える観光マーケティング課題に対応するため、県内各観光地の特色・現状・観光消費のポイント等についてテーマ別に調査・分析を実施し、地域へ提供。
- ③サステナブルなインバウンド観光地づくりの推進
  - ・インバウンド受入再開等を踏まえた持続可能な観光地域づくりを推進するため、サステナブルツーリズムの先進地域における実証事業や地域の特色等に関する調査・分析の実施、また取組波及のためのシンポジウム等を開催。

## 4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	経営改善等に取り組むDMO等の数	件	0	0	—	3	↑	2	達成	当該事業において支援を想定している件数	
②	調査分析業務のため目標設定なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
③	サステナブルツーリズムに取り組む観光地域数	地域	—	—	—	2	—	2	達成	当該事業において支援を想定している地域数	

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	★観光消費額	億円	2021 (R3)	5,154	2022 (R4)	6,023	2023 (R5)	8,549	2027 (R9)	9,000
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	訪日外国人旅行者の観光消費額	億円	2021 (R3)	0	2022 (R4)	37	2023 (R5)	541	2027 (R9)	747
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	★外国人延べ宿泊者数	万人泊	2021 (R3)	6	2022 (R4)	18	2023 (R5)	149	2027 (R9)	207

## 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	101,422	13,476	114,898	109,251	112,722	6.8
R4年度	61,050	137,294	0	198,344	133,370	151,703	6.8
R3年度	0	152,962	2,258,099	2,411,061	140,212	2,367,920	7.8

事業番号	08 01 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	観光戦略推進事業		部局	観光スポーツ部	課・室	山岳高原観光課

## 7 主な取組実績と成果

### ①DMO等における課題解決のための人材育成支援

- ・県内DMOおよび市町村へのヒアリングの実施（7地域）や地域主催会議への出席（12回）により地域課題の把握を行った。
- ・県内3地域を対象に観光機構が持つ経営改革等の内容を共有し検討する機会を設けた。
- ・外部人材を活用し、県内各地域が直面している観光地域づくりにおける課題解決への支援のほか、持続可能な観光地域づくり推進事業の選定地域である地域連携DMO2者を対象に、持続可能な観光地経営に向けた支援を実施。

### ②観光地のポジショニング分析の実施

- ・観光機構において、「スノーリゾート」・「サイクルツーリズム」をテーマに調査・分析を実施。
- ・「スノーリゾート」では、今後の各地域が獲得を目指すべき訪日外国人客層を明確にし、観光機構が支援をしていくための基礎データを構築。
- ・「サイクルツーリズム」では、サイクリストの類型化を行い、観光団体・自治体に向けて成果報告及び意見交換会を実施。

### ③サステナブルなインバウンド観光地づくりの推進

- ・持続可能な観光地域づくりに関する国際基準認証の第1段階となる、「持続可能な観光地Top100選」への選出に向け、実証事業および調査事業による地域への伴走支援（7地域）を実施。
- ・地域が持続可能な観光に取り組む意義や必要性についての十分な知見を得るため、地域を対象とした勉強会（2回）や先進地視察を実施。

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	経営改善等に取り組むDMO等の数	R4年度推移	—	R5年度推移	↗	達成状況	達成
ヒアリングやセミナーを実施することで各DMOに今後の観光地の方向性の議論を促したほか、地域へヒアリングを行い今後の相談体制を構築できたことが要因と考えられる。							
指標②	調査分析業務のため目標設定なし	R4年度推移	—	R5年度推移	—	達成状況	—
—							
指標③	サステナブルツーリズムに取り組む観光地域数	R4年度推移	—	R5年度推移	—	達成状況	達成
地域社会と環境に配慮した旅行が好まれる傾向が高まっており、各地域においても関心が高くなってきたことが要因と考えられる。							

## 9 今後の事業の方向性

### (1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

#### 【DMO等における課題解決のための人材育成支援】

- ・観光機構の有する知見の共有等により、地域が抱く課題に対して一定程度の道標を打ち立てることができたが、一層実践段階に落とし込んだ取組の実施が必要。

#### 【観光地のポジショニング分析の実施】

- ・研究だけに留まらず、得られた結果をもとに各地域が実証につなげることで、効果的な観光施策の展開を図ることが必要。

#### 【サステナブルなインバウンド観光地づくりの推進】

- ・国際基準の達成に向けて必要となる具体的な取組創出のための伴走支援を積極的に実施していくことが必要。

### (2) 事業改善の方策

#### 【DMO等における課題解決のための人材育成支援】

- ・DMO等の運営に係る課題(人材・地域内合意形成等)の解決を図るため、観光機構による人材育成支援等を実施。

#### 【観光地のポジショニング分析の実施】

- ・実証事業を行う地域を設定し、地域のめざすべき顧客像を明確化させ、的確なプロモーション提案を実施。

#### 【サステナブルなインバウンド観光地づくりの推進】

- ・持続可能な観光地域づくりを推進するため、サステナブルツーリズムの先進地域における実証事業や地域の特色等に関する調査・分析の実施、また取組波及のためのイベント等を開催。

事業名	観光戦略推進事業	部局	観光スポーツ部	課・室	山岳高原観光課
-----	----------	----	---------	-----	---------

細事業No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	観光地域づくり推進事業	62,661 千円	80,671 千円	31,082 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	観光地域づくり地域支援事業	負担金	・DMO・観光事業者の連携強化や地域共通テーマに応じた連絡会議運営 ・DMO等の経営課題等に対応する外部専門人材等と連携した人材育成支援 連絡会議開催回数 2回、経営改善・人材育成支援件数 3件	
2	観光地域づくりにおける研究機能強化事業	負担金	・県観光機構の調査研究機能を強化し、本県のプロモーション戦略等の策定 や各観光地の特色・現状等を明確にするテーマ別ポジショニング分析を実施 プロモーション戦略等策定 1件、県内観光地のテーマ別ポジショニング分析 2件	
3	サステナブルなインバウンド観光地づくり推進事業	負担金	サステナブルツーリズム推進に取り組む先進地域と協働する実証事業等の実施 や先進地域の取組波及を目的としたシンポジウム等の開催。 実証事業実施地域 2地域、地域の調査・分析 5地域	
4	スキー場の今後のあり方検討事業	直接	スキー場関係者や行政関係者のほか、マーケティング等の知見を有する有識者を交えた懇談会を開催し、スキー場の課題や方向性について意見交換 懇談会開催回数 2回	

細事業No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	観光情報発信事業	59,414 千円	62,177 千円	60,415 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県外観光情報センター観光宣伝業務負担金	負担金	名古屋、大阪観光情報センターにおける各種メディアを活用した情報発信、観光情報の収集、情報提供等の実施を支援 令和5年度 来訪者数：延べ34,492人 メディア等への営業訪問件数：119件	

細事業No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	観光振興指導調査費	8,212 千円	7,564 千円	20,424 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県観光振興審議会等の開催・運営	直接	長野県観光振興審議会及び長野県観光戦略推進本部会議の開催 審議会（7/27、9/13、3/25）を開催	
2	各種統計調査の実施	直接	観光地利用者統計調査・スキー、スケート場利用者統計調査・学習旅行実態調査、外国人延宿泊者数調査の実施 調査を4回実施し、結果を公表	
3	観光地点パラメータ調査	委託	観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく観光地点パラメータ調査の実施 年4回、12地点で観光客へのアンケート調査等を実施	
4	新たな観光振興財源の検討・調査	直接 委託	新たな観光振興財源の検討のため、長野県観光振興審議会に部会を設置し、開催 検討部会（10/6、11/16、12/22、1/15、3/13）を開催	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	観光客安全対策推進事業		2,237,633 千円	1,291 千円	801 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地区観光客安全対策組織への負担金	負担金	長野県観光客安全対策推進会議に負担金を支出し、スキー場安全パトロール講習費用を支援 長野県索道事業者協議会が開催したスキー場パトロール講習会(3回)に対する費用を支援(568千円)		